



人と環境にやさしいトランジットモデル都市をめざして RACDA

第 150 号

2016 / 4

## ～第15回RACDAゼミを終えて～ ここに街があること

### ■第15回 RACDA ゼミにパネラーとしてご登壇いただいた方々

松山将三郎 …RACDA、都市ビジョン研究会、選挙割など若者の参加をめざす  
中川美登里 …京橋朝市実行委員会、映画『見えないから 見えたもの』助監督  
太田修二 …MOMO 編集室(フリーマーケット)主催20年以上、人集めの仕掛け人  
逢澤直子 …(一社)おいでんせえ岡山代表理事、震災後の岡山移住定住を主導  
市川三好…RACDA、ももの里地域街づくり協議会、中山間のまちづくりを推進

### ■2046年。30年間の海外赴任を終えて 秀家は帰国した。

久しぶりに帰る故郷岡山。どれだけ楽しみにしていた事であろうか。

市街地から少し離れた桃の花咲く郊外に自宅はある。しかし帰宅する道中に感じたのだが、近所のほとんどが空き家になっている。東北から移住されて来られた隣の星野さん家族。研究所に勤めていらっしやっただイギリス出身の向かいのガントレットさん。他にもたくさん家族がこの町

を出て行ったらしい。哀愁に浸っていても仕方なので、気を取り直して、京橋朝市に行って旨い魚でも買って帰ろう。今日は第1日曜日。自家用車を飛ばして旭川河畔に到着すると愕然とした。曜日を間違えたか？時差ボケにも程がある。朝市が開催されていないのである。橋のたもとにある交番で聞くと、ここ数年前から開催されてないらしい。落胆していても仕方がない。賑わいを求め、フリーマーケットの開催情報を検索してみた。

結果0件。なぜだ？あれほど県内で盛んに開催されていたフリマまで開催されていないのである。30年ぶりに帰ってきた岡山は、街に活気を失ったゴースタウン。いやゴーストシティになっていたのだ。

■30年後そんな岡山になってないよう、現在、活動かつ活躍されている市民団体の方々にご参加いただき、「岡山の未来をデザイン、これからの30年」というテーマで第15回RA



NPO 法人公共の交通ラクダ(RACDA)

事務局 〒700-0823 岡山市北区丸の内 1-1-15 禁酒会館 3F TEL&FAX 086-232-5502

E-mail:info@racda-okayama.org

URL:http://www.racda-okayama.org

RACDA

検索



CDAゼミは開催されました。そこで日頃の活動において大きく下記の優位性と劣位性があると気づき、問題意識を共有しました。

【優位性】

- ① 災害が少なく、気温も温暖で住んでいてなぜかほっとする。
- ② 「岡山現象」という言葉が出来たように、岡山人は機動力が半端なく温かい。
- ③ 西日本の交通の結節点であり、他府県からも人が集まりやすい。

【劣位性】

- ① 運営スタッフの高齢化による存続問題及び後継者問題
- ② 生産年齢層の街離れの原因となる就業機会の不足
- ③ 公共交通の必要性に対する認識の低さによる整備の遅れと利便性格差の拡大

【結論】優位性を活かしながら…

- ① 個々にあった持続可能なコミュニケーションツールの保持
- ② ネットワーク構築の為にコーディネーターの存在
- ③ すべての人に平等な移動手段、公共交通の整備

■2046年。30年間の海外赴任を終えて秀家は帰国した。

「お久しぶりです」明るい声をかけて来てくれたのは、お隣の星野さんの息子さんだ。現在、地元少年野球の監督をされているらしく、後ろには自転車に乗った子供達が連なっていた。「宇喜多さん。オゲンキデシタカ？」今度は向かいのガントレットさんだ。故郷のイギリスにも多くの田園都市があるが、岡山は世界一美しく住みよい田園都市だと気に入ったらしく、永住を決めたそうだ。今日は第1日曜日。電気バスとLRTを乗り継いで京橋朝市に出かけた。各テントからの威勢のいい声と、食欲を誘ういい匂いにテンションが上がる。この後はフリマをはしごだ。こちらも、どの会場も出店者、来場者共に笑顔が溢れていた。ここに街があること。この元気で優しく美しい街で、心豊かにずっと暮らしていこう。

安藤 亮

